

「アイチ環境取り組みプラン2020」を策定 ～サステイナブルカンパニーとして社会・地球環境へ貢献～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広、以下愛知製鋼）は、持続可能な社会・地球環境へ継続的に貢献していくため、2016年度から2020年度までの環境行動の指針・計画である「アイチ環境取り組みプラン2020」を策定しました。

愛知製鋼グループは、これまでも5年毎に環境取り組みプランを策定して推進し、環境問題に積極的に取り組んでいます。

今回の取り組みプランでは、「環境マネジメント」をベースに、環境活動の方向性として「低炭素社会構築」「資源循環型社会構築」「自然共生」を3大重点テーマにあげて推進します。

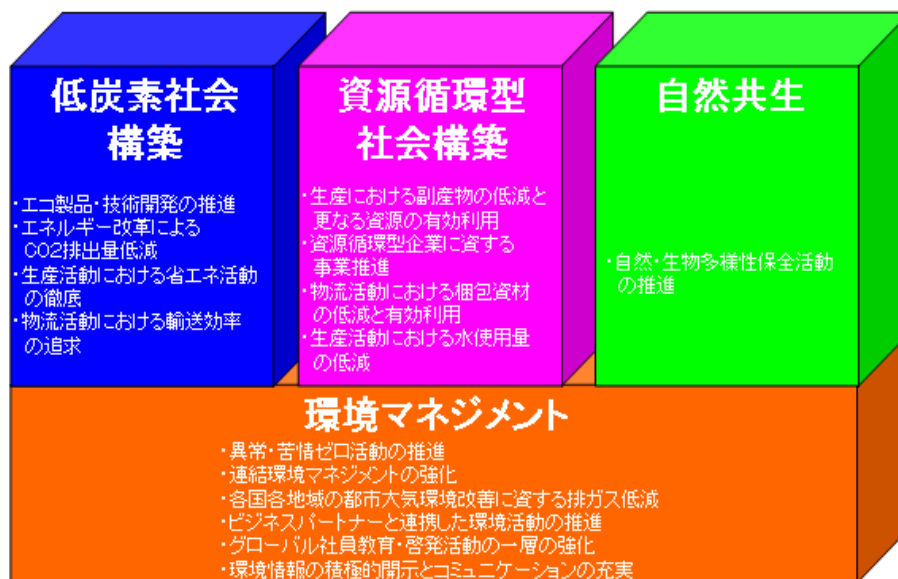
当社は、鉄スクラップを原料としたモノづくりを行っており、限りある資源を有効に活用する「資源循環型企業」です。しかしその生産工程ではエネルギーの多消費が避けられない産業といえますが、従来より進めている4Sリエンジ(注)をはじめとしたエネルギー改革の確実な実施により、省エネ・CO₂の削減に継続して取り組んでいきます。

(注) 4Sリエンジ=Simple Slim Short Straight を目指したプロセス改革

併せて、自然・生物多様性保全活動における環境・社会貢献などの継続的な取り組みおよび連結子会社までのグローバルな視点を組み込んだマネジメント強化により、サステイナブルカンパニーとして社会・地球環境へ貢献していきます。

「アイチ環境取り組みプラン2020」の基本方針と取り組み項目は以下のとおりです。

【基本方針と取り組み項目】



以上

【アイチ環境取り組みプラン2020 取り組み項目と実施事項・目標】

テーマ	取組項目	具体的な実施事項・公表目標等	区分													
3 大重点 テーマ	低炭素社会構築	①エコ製品・技術開発の推進	・次世代エネルギー推進に貢献する製品・技術開発	技術開発												
		②エネルギー改革によるCO2排出量低減	●CO ₂ 排出量の低減 <エネルギー起源CO ₂ > <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>項目</th> <th>基準年度</th> <th>目標(2020年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独</td> <td>CO₂原単位</td> <td>2005年度比</td> <td>▽8.5%*</td> </tr> <tr> <td>関連会社</td> <td></td> <td></td> <td>個社毎に設定</td> </tr> </tbody> </table> *鉄連低炭素社会実行計画対応	対象	項目	基準年度	目標(2020年)	単独	CO ₂ 原単位	2005年度比	▽8.5%*	関連会社			個社毎に設定	生産
		対象		項目	基準年度	目標(2020年)										
		単独	CO ₂ 原単位	2005年度比	▽8.5%*											
	関連会社			個社毎に設定												
	③生産活動における省エネ活動の徹底															
	④物流活動における輸送効率の追求	●物流CO ₂ 排出量の低減 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>項目</th> <th>基準年度</th> <th>目標(2020年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独</td> <td>輸送量当り排出量</td> <td>2006年度比</td> <td>▽14%</td> </tr> <tr> <td>関連会社</td> <td></td> <td></td> <td>個社毎に設定</td> </tr> </tbody> </table>	対象	項目	基準年度	目標(2020年)	単独	輸送量当り排出量	2006年度比	▽14%	関連会社			個社毎に設定	物流	
	対象	項目	基準年度	目標(2020年)												
	単独	輸送量当り排出量	2006年度比	▽14%												
	関連会社			個社毎に設定												
資源循環型社会構築	⑤生産における副産物の低減と更なる資源の有効利用	●廃棄物*排出量の低減 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>項目</th> <th>基準年度</th> <th>目標(2020年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独</td> <td>粗鋼量当り排出量</td> <td>'11年度～ '15年度平均比</td> <td>▽8%</td> </tr> <tr> <td>関連会社</td> <td></td> <td></td> <td>個社毎に設定</td> </tr> </tbody> </table> *逆有償リサイクル、直接埋立廃棄物、間接埋立廃棄物	対象	項目	基準年度	目標(2020年)	単独	粗鋼量当り排出量	'11年度～ '15年度平均比	▽8%	関連会社			個社毎に設定	生産	
	対象	項目	基準年度	目標(2020年)												
	単独	粗鋼量当り排出量	'11年度～ '15年度平均比	▽8%												
	関連会社			個社毎に設定												
⑥資源循環型企業に資する事業推進	・環境改善・資源循環社会構築に向けた技術開発の推進 ・金属屑等オールヨタ内有効活用の推進	技術開発														
⑦物流活動における梱包資材の低減と有効利用	・新規品への簡易包装採用	物流														
⑧生産活動における水使用量の低減	・水使用量の管理 単独(自動車部品関連):使用量管理、関連会社:個社毎に設定	生産														
自然共生	⑨自然・生物多様性保全活動の推進	・生物多様性ガイドラインをオールヨタで共有し、活動推進 ・”つなぐ”を意識した取組みを推進 (“緑をつなぐ”、“地域とつなぐ”、“未来へつなぐ”)	社会連携													
環境マネジメント	⑩異常・苦情ゼロ活動の推進	・環境リスクマネジメントの推進	-													
	⑪連結環境マネジメントの強化	・各地域の環境法令順守と環境異常未然防止活動の推進														
	⑫各国各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減	・低排出ガス車導入の推進														
	⑬ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	・サプライヤーにおける順法徹底、および環境パフォーマンス向上の推進														
	⑭グローバル社員教育・啓発活動の一層の強化	・各地域の実情に合わせた環境教育の推進														
	⑮環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実	・レポートの発行継続とさらなる内容充実 ・環境コミュニケーション活動の充実														